

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書

※整理番号：

企画名	学生フォーミュラ日本大会 2025 への挑戦
実施日	令和 6 年 9 月 15 日 (日) ~ 令和 7 年 3 月 31 日 (月)
実施場所	製作:G4 実験棟 大会:Aichi Sky Expo
企画代表者の氏名、所属	氏名: 久保虎太郎 所属: 工学部一類
構成員の氏名	牛場清志, 檜垣諒, 安井展人, 周峻皓, 黄朝陽, 山田凌右, 岩崎薫, 奥瀬友太, 富永毅人, 大本健斗, 久保虎太郎, 岩倉聖, 中田涼太, 片山皓太, 荒川創太, 大場柊弥, 平凜一郎, 喜多邑, 大城大翔, 磯辺昂, 大蟲伊織
- 21 名	
指導的立場の教員氏名	※報告内容をご確認の上、ご署名または記名・押印をお願いします。 難波 稔 (印) 難波 稔 (印)
企画の目的及び内容	目的 - 工学において基本となるモノづくりをベースに材料力学, 熱力学, 設計製図など大学で履修科目を活用することで, 学業により一層興味をもって取り組むことができる。 - 権威のある大会に出場し, 活躍することに広島大学の発想力と技術力を他校, 企業に示すことができる。 内容 - 令和 7 年の 9 月に愛知県常滑市の中部国際空港 Aichi Sky Expo, で開催される学生フォーミュラ日本大会に新しく作成したマシンで出場する。
来場者数	19,956 名 (令和 6 年度の大会)
主催・後援団体 (外部のコンテスト等に参加する場合は, そのコンテストの規模)	主催: 公益社団法人 自動車技術会 2024 年スポンサー (※S~SS class を抜粋) SS class トヨタ自動車株式会社 S class NOK 株式会社, スズキ株式会社, 株式会社スバル, 日産自動車株式会社, 株式会社プロテリアル, 本田技研工業株式会社, マツダ株式会社, 三菱自動車工業株式会社, 株式会社モルテン (https://www.jsae.or.jp/formula/sponsor/page2024/より) その他スポンサー (お手数ですが, https://www.jsae.or.jp/formula/sponsor/page2024/ よりご確認ください。)

活動の内容（準備、広報活動、当日の様子等）

準備

2024年大会に出場のため、静的資料と呼ばれる書類づくりを3月から始めました。部員全員が初めてということもあり、「SES」とよばれる資料では2回の再提出を受け、最終的にはギリギリの合格となりました。

また、実際に成績にも反映される資料「コストレポート」では全体で19位と好成績をおさめたもののペナルティを受けました。

走行の準備は広島大学の駐車場をお借りして、走行の練習をしていました。実際のコースにのっとり定常円やスラロームといった種目を練習し、実車が使えないときは部室にあるシュミレーションゲームで実際のコースを走りこみました。

広報活動

新入生勧誘のためにSNSでの広報活動を行いました。例年なら工学部1類の学生が多かったですが、今年は2類と情報科学部を含めた10名が入部しました。

コロナ禍で活動を休止した我々ですが、休止する前にスポンサーをしていただいた企業様声をかけ、何社か協賛していただくことになりました。また、大会でブースを出展している企業様にも声をかけ名刺をいただきました。

当日の様子（2024年大会で）

以前のエコパから場所を中部国際空港セントレアに場所を変えた初めての大会でした。我われも休止から初めての大会出場となりました。日本の大学だけでなく海外の学校も参加していました。企業ブースでは公式ホームページによると112社が出展されました。

(<https://www.jsae.or.jp/press/detail/2428/>)

（裏面に続く）

「学生のおもしろ企画・大学祭企画」実施報告書 (裏面)

アンケートの結果（来場者にアンケートを実施した場合のみ）

実施なし

成果・課題

成果

2024年大会の成果といたしましてはエンジンの不調により動的種目の出場ができずに80チームの参加中75位という成績でした。

課題

動的種目が出場できず、車両が生かせないまま大会が終了しました。はじめての大会参加ということで慣れない部分があり、特に移動の際にトラブルが続き、大会で全力が尽くせず、不本意な結果となった要因の一つです。2025年大会ではこの大会に参加したメンバーが中心となりますので今回の大会よりもより良い結果を目指さると思います。

また、事前に見積もり書を提出していましたが、タイヤの大きさの変更などの大きなカスタマイズは車両特性が把握していない現状で時間をかけるのは効率が悪く、コストの面を考慮してタイヤの変更などの大きなカスタマイズはすべきでないと考えました。また、鉄パイプを経費としていれていましたが、協賛していただける企業が見つかりましたので、ほかの材料費に充てさせていただいております。すべて2025年大会に活用できるものです。

実施風景（写真）



練習走行の様子

